wellcome to 野菜ソムリエコミュニティ岡山

産地見学&袋掛け 参考資料 ジュニア 山下 裕

日時 6月5日 (日) 10:00~12:00

場所 ①浅原園芸組合選果場 倉敷市浅原1860-1

②室山浩二郎 組合長 桃園

内容 ①浅原園芸組合について ②袋掛け作業 ③ミニセミナー *雨天の場合は、作業体験以外の内容で実施致します。



昨年9月15日の桃の樹の様子。 さ・て・と

上・下写真を見比べて

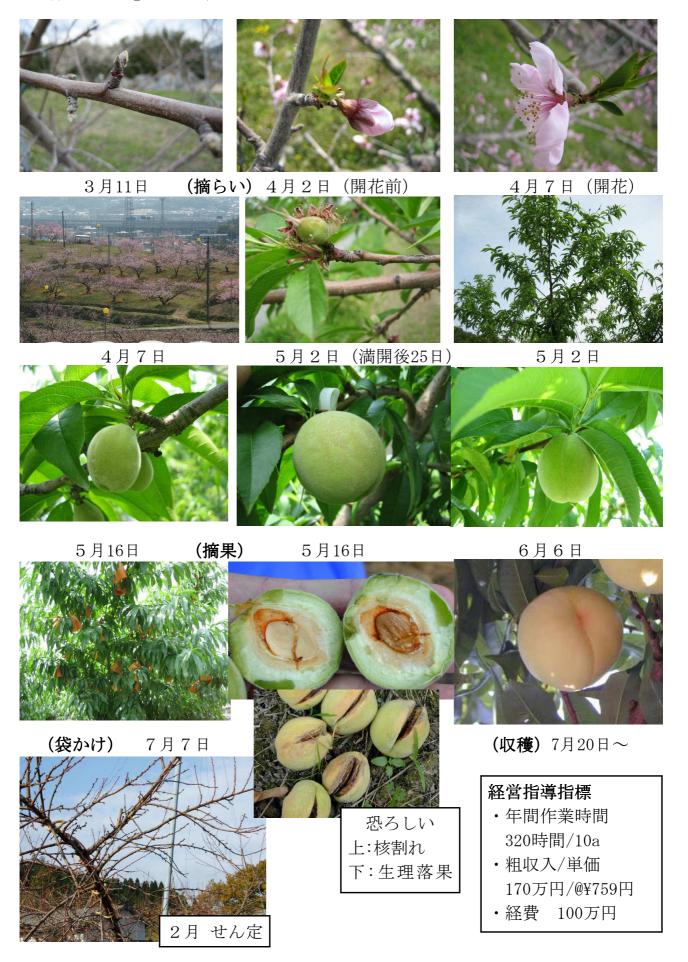
- ①何か違いませんか?
- ②どっちが好き?
- ③どっちがおいしい桃がたくさ ん穫れたと思いますか?
- ④どっちが浅原だと思います?

ミニセミナー?レジメ

- 1 桃の生育
- 2 岡山県の桃
- 3 浅原桃便り



「清水白桃」の生育



岡山県の桃

1 栽培而積等

岡山は全国5位

順位	県名	面積(ha)	生産量(t)
1	山梨	3,540	52,800
2	福島	1,790	31,800
3	長野	1,230	20, 200
4	和歌山	788	13,000
5	岡川	714	<i>8, 940</i>
6	山形	640	8, 280
	他	1, 398	22, 280
日本全国合計		10, 100	157, 300



2 岡山の「白桃」と他県の「桃」



〈色は〉 白⟨⇒赤 〈実は〉 柔⇔硬 〈果汁は〉 溢れる分少 〈日持ちは〉 短令長



3 桃の栽培

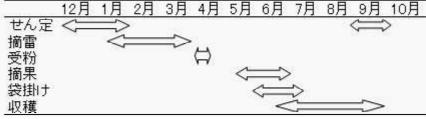
〈右図上〉浅原の主要品種

・1品種あたりの収穫期間は 2週間程度

〈右図下〉桃の主要作業

- ・水やり、草刈りは年中
- ・病害虫防除は適宜

8月 9月 はなよめ 日川白鳳 加納岩白桃 白鳳 清水白桃 おかやま夢白桃 川中島白桃 白麗 黄金桃



4 桃クイズ

- ①岡山県の桃栽培面積は、全国何位?
- ①1位
- ②5位
- ③50位
- ②1本の樹に成る「桃の実」の数は何個くらい?? ①100個 ②500個 ③1,000個

- ③名前でないのは?? ①ふくよか美人 ②玉うさぎ ③みずき



浅原のもも



倉敷を見渡す絶景

瀬戸内に降り注ぐ太陽を一杯に浴び、のびのび育った桃をおすすめいたします。

浅原のもも ~自然と一体化し、ももの力を100%引き出す総合的栽培方法~

①ももの気持ちを理解する ~超弱せん定~

ももの樹が考えていることは2つ。自分が生きること、自分の子孫(実)を残すこと。 ももの生産で重視されることはもちろん「ももの実を穫る」こと。

…これは人間の勝手過ぎやしませんか?…

浅原ではももの気持ちを尊重します。

そう、ももがせっかく伸ばした枝を切る 作業であるせん定、を極力控え、ももの樹 が伸ばしたい枝は伸ばしてやるのです。

「自分が生きること」を理解してくれて いると確信したももは、安心して「子孫を 残すこと」を考えます。今まで以上に甘み や香りを乗せ、日持ちも良いももに仕上が ります。



草もしっかり生えてます

②ひろびろのびのび ~独立樹~

ももは十分な光を受けてはじめて、濃い甘 みと風味、香りが生まれます。

浅原では、ももの樹1本1本が広々と植え られています。朝から晩まで、たっぷりと太 陽の光を受けることが出来るので、樹の上かり ら下まで、収穫始めから終わりまで、甘く、 香り高く、日持ちの良いももが生産できます。

③草ものびのびゆったりと~草生栽培~

浅原のもも畑は雑草で覆われています。管理不足?そうでは ありません。

山にも河原にも草は生えます。それが自然です。

近年の高温・・・人にもももにもこたえます。しかし雑草があるとももの根は高温 から守られるので、ももの樹は健康でいられます。



近年のゲリラ豪雨や長雨・・・ももの糖度は収穫前2週間の日照時間と降水量に大きく左右されます。特に多すぎる雨は土の中に残り、ももの実が多く吸い上げ、味が薄まるのです。しかし草があれば、この多すぎる水をせっせと吸い上げ、糖度回復に貢献します。

また刈った草は枯れ、光を反射し糖度を上げる。また腐れば堆肥となり土を肥やす。 草は、畑の中の養分、水分を上手に調節してくれる、影のヒーローです。

④消費者の安心に向けて ~栽培管理履歴記帳~

当然農薬の使用に関しては、決められた薬のみを決められた方法のみで使い、きっちりと記帳。出荷時にはモモと一緒に栽培管理暦として提出が義務づけられています。

⑤最新科学も導入 ~糖度センサー導入~

(1)光の目がチェック ~非破壊糖度センサー~

どんなに努力してもどうにもならない気象。この影響で、糖度の低いももになって しまうこともあります。しかし外観で味がわかりにくいのが…もも。

そこで光の目が、厳しいチェックを行います。

またこの糖度データは生産者に成績表と併せて返され、更なる努力につなげて貰います。

(2)光のヴェールが畑を守る ~ 黄色防蛾灯~ 夏の夜。虫は元気に飛び回り、おいしいモモの 果汁を吸いに来ます。ここで活躍防蛾灯。

「ここは昼か?」と思った虫たちは山に帰ります。

(3)健康は土から

秋には土壌分析を行い、土の健康状態を分析。 より良いモモ作りを目指します!

浅原の元気な取り組みがわかって頂けました か?

今年もおいしいモモ目指して

がんばりまーす!!!

